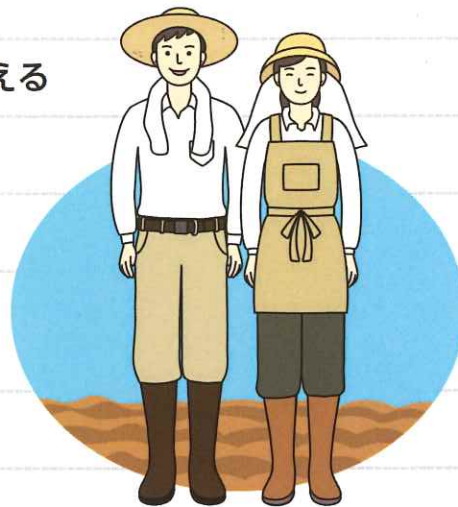


地域研修(援農ボランティア活動) 準備チェック表

- ☐ ご自身の体調チェック
- ☐ ボランティア研修に参加することを家族に伝える
- ☐ 持ち物チェック
 - ☐ 汚れてもよい長袖、長ズボン
 - ☐ 汚れてもいい運動靴、長靴、足袋等
(足首は出さない方が安全)
 - ☐ 帽子
 - ☐ タオル
 - ☐ 飲み物
 - ☐ 虫よけ
 - ☐ 軍手など作業に適したもの
(作業によって適切なものがあるので、農家さんへ確認)
- ☐ 保険加入の確認(所属する区市町村により異なります)
- ☐ 緊急時連絡先(確認して下の欄に記入しておきましょう)



区市町村窓口の連絡先

地域研修受入農家への連絡方法

区市町村募集
ホームページ
一覧はこちら



地域援農
ボランティア
養成事業

東京の青空塾の手引

事業案内

東京の青空塾とは、農業に関心を持つ方々を対象に、農業体験や農業者との交流などを通して農業の意義や役割について理解を深めていただき、東京農業の支え手として農家の方と共に安全で新鮮・良質な農産物等の生産を担う「援農ボランティア」を養成し、認定する事業です。



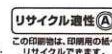
ボランティアとは・・・

ボランティアの語源は、「意志」「善意」の意味を持つラテン語の《VOLUNTAS》だといわれています。自分の意志で、誰かを支えるために進んでする行動です。

そしてボランティアには人々と協力して成し遂げる「楽しさ」や「出会い」「学び」があります。



公益財団法人 東京都農林水産振興財団
Tokyo Development Foundation for Agriculture, Forestry, and Fisheries



東京の青空塾のしくみ

申込み

援農ボランティアをしたい都民の方

窓口

区市町村

●募集案内 ●農家への研修依頼



6月~

研修

地域研修 区市町村内受入農家にて

実習作業を中心とした研修 2時間×10日=20時間
6月頃から11月頃
(地域によって異なります)



中央研修 (公財)東京都農林水産振興財団

講義を中心とした研修 第1回【講義】座学2時間
第2回【講義】座学2時間
第3回【視察】半日

窓口

区市町村



12月

認定

養成講座修了者へ
「援農ボランティア認定証」
交付



活動開始

区市町村ごとに活動開始時期は
異なります



援農ボランティアで注意するマナーやルール

無理をしない

ボランティアは自身の無理のない範囲で行うのが基本です。
参加前には体調を確認しましょう。ボランティアに行く回数なども、自身にとって負担にならないようにしましょう。
作業中も少しでも体調に異変を感じた場合は、農家さんに報告して休憩しましょう。

時間・約束・守秘義務を守る

約束の時間に遅れないようにしましょう。
何らかの事情で行けなくなった時には必ず連絡しましょう。
ボランティア先で知った事柄は他言をしてはいけません。
プライバシーに関する事柄はもちろん、農業技術も農家さんの積み重ねた知的財産ですから気を付けましょう。



安全に注意したボランティアを心がける

思わぬところでケガにつながる可能性があります。作業に適した服装かどうかを見直したり、安全への心がけを常にする事でケガを未然に防ぐことができます。
動いている農機具には絶対に近づかない。
借りた農具はすぐに片付け、鎌などの刃物の放置はケガにつながるため元にあった場所へ戻しましょう。



わからないことはすぐに農家さんへ質問

どんな些細なことでも恥ずかしがらずに聞くことが重要です。
また、ミスを起こしてしまった場合は小さなことでも報告しましょう。
大事な作物(商品)です。予想のつかない結果になるかもしれません。確認をして、アドバイスをもらいましょう。

ボランティア活動は無償

当たり前かもしれませんが、ボランティアは個人的な利益や報酬を目的とした活動ではないことをご理解下さい。

